

## 中国の西部大開発について

雲南大学経済学部副学部長 博士学位認定教授 張 薦華

(土屋昌明所員訳)

### 一．西部大開発の戦略的目標と主たる任務

#### 1．現状と格差

中国西部地区とは、西北部および北部の新疆・甘肅・寧夏・青海・内モンゴル・陝西という六地区、そして西南部の四川・貴州・雲南・チベット・重慶・広西という六地区である。いわゆる西部地区の面積は全国土の55%を、人口は全人口の四分の一を占める。中国西部地区は多くが少数民族の居住地区と重なり、自然資源は豊かであるが、経済的には改革開放以来すぐれて発展しているとはいうものの、東部や中部地区とは大きな格差が生じており、かつこの格差は近年いよいよ拡大する趨勢にある。この格差を縮小させ、西部地区の改革開放と経済発展を促進させるためには、地区間の経済的発展の不均衡問題を解決しなければならない。これが目下すすめられている西部大開発の戦略と政策である。

西部地区が対外開放において東部・中部地区と大きな格差をかかえている主たる原因は、(1)西部地区が内陸地に位置し、沿岸地域にくらべて、交通・運輸のコストがかかること (2)政府は沿海地域には優遇政策をすすめたが、西部地区に対しては1992年までそうした政策がなく、その後もやっと部分的な優遇政策にかざられていたこと (3)政府は長期にわたって、西部を原料の供給地として設備投資をしてきたので、加工工業の発展程度は低く、激しい市場競争下ではもとよりたちうちできない上に、鉱産物・農牧産物の価格は低く、しかも国際市場価格の変動の影響を受けやすいこと (4)東部と中部地区は収入程度が大幅に高く、西部の人材・資金などの生産要素を大量に吸収してしまったこと、などである。

#### 2．方針および目標

これからの努力により、21世紀中ごろまでに全国レベルの現代化をすすめ、西部地区の状況を一変させ、自然ゆたかで、経済的にも繁栄し、社会的にもすぐれ、民族的にもまとまりのある、豊かな西部地区にすべきである。21世紀初頭の10年間には、基礎設備と生態系保護の環境の建設で飛躍的な発展をすすめ、科学技術教育・地域特色的経済・地域産業を発展させ、改

革開放の新たな局面をもたらし、人々の生活をより改善させて、西部大開発の堅固な基礎を築く。すなわち、インフラ整備の加速化を基礎に、エコロジー保護を根本としつつ、産業構造の調整と科学技術教育の育成をすすめる、改革開放政策の後押しをうけて、人々の生活水準をアップさせるところから出発して、着実に西部大開発をすすめるべきである。

### 3. 西部大開発の主たる任務

- (一) エコロジー対策を特に強化する。
- (二) インフラ整備を継続的重点的にすすめる。
- (三) 農村の基盤整備を強化し、農民の生活改善をすすめる。
- (四) 科学技術教育を発展させ、人材開発につとめる。
- (五) 地域特色的経済を積極的にすすめる、重点地域の開発を推進する。
- (六) 投資環境を改善し、法制度の整備をすすめる、改革開放を促進させる。

## 二. 西部地区の投資環境

- 1. 「ネック」の束縛を克服し、投資のハード的環境を改善させる。
- 2. 西部における非公有制の経済発展を促進させ、農村経済の発展をはかつて、経済構造の多元性という桎梏を克服する。
- 3. 資源開発を突破口にして、資金を集中させて全国的影響力のあるエネルギー源・原料工業基地を建設する。
- 4. 西部における科学技術を普及発展させ、人的資源の開発に力を入れる。

## 三. 西部に対する政府援助の傾向

- 一、西部地区における外国企業の投資に対する税金優遇。
- 二、西部地区の外国企業の投資範囲の拡大。
- 三、西部地区に対する外国企業の投資の容易化。
- 四、西部地区における外貨利用条件の緩和。
- 五、鉱産物資源への外国企業の投資を促進させる優遇策。
- 六、西部地区の対外貿易の活発化。
- 七、国内に対する開放促進の優遇策。